

まちの話題



平成20年度 香美市行政連絡会を開催

香美市の自治会長と市執行部、市議会議員らが一堂に会し、香美市からの報告や市の課題について考える「平成20年度香美市行政連絡会」が4月26日、市立保健福祉センター香北で開催され、98人の自治会長が参加しました。

当日は、市長と議長より、それぞれの立場から市政の報告が行われた後、当初予算の説明、各課からの今年度の事業予定や施策についての説明が行われました。質疑応答では、市財政の今後の見通し、市債（市の借金）残高や、平成23年6月1日から義務化される家庭用火災警報器についてなど、住民の関心が高い課題について執行部に質問が寄せられていました。

また、特別プログラムとして、尾關正直高知県知事



自治会長98人が参加

から「高知県政について」と題して講演があり、知事の県勢浮揚に向けた熱い話に、会場の参加者は聞き入っていました。

奥物部ふれあいプラザで 自慢の歌声を披露

蜷愛好会メンバーが熱唱



4月13日、奥物部ふれあいプラザで「第18回チャリティー歌謡ショー」（大栃カラオケ愛好会主催）が開催され、約700人の観客が集まりました。

歌謡ショーの第一部では、愛好会のメンバー11人が日頃の練習で培った自慢の歌声を披露。第二部では、3人のプロの演歌歌手（山本譲二さん、立花伸一さん、松本稔さん）によるステージがあり、楽しいトークとプロの歌声に観客は大いに盛り上がりました。

また、歌謡ショーの収益から50万円が、物部地域の社会福祉に役立ててもらおうと、香美市社会福祉協議会物部支所に贈られました。

川と触れ合いを アユの放流などを実施

4月24日、土佐山田町繁藤の穴内川で繁藤小・中の児童生徒がアユを放流しました。この取り組みは、繁藤地区振興協議会が地元の子どもたちに、最近生活の中で離れつつある川に親しんでもらおうと、れいほく漁協の協力を得て実現しました。

川辺に下りた子どもたちは、まず水質検査を行い、穴内川の水の状態を調べた後、アユの放流を行いました。川に放たれて元気に泳ぐアユを岸から見送った子どもたちは、「今度川に泳ぎに来る」と川に興味を持ちました。



大きくなれと願いを込めて

たようでした。また、それに先立ち4月20日に繁藤地区振興協議会が訪れる川へ安全に下りて、川との触れ合いを楽しんでもらえるようにと、今回放流を行った河の川橋の下に下りる通路を整備しました。

消防団が春季演習を実施

消火技術の向上、団員の交流を図ろうと消防団の春季演習が行われました。

4月13日には土佐山田消防団（団員・消防署員あわせて約130人が参加）が町田堰河川敷で、20日には物部消防団（団員・消防署員あわせて約60人が参加）が物部町影仙頭地区で中継訓練などを行いました。団員らは、消防署員の指導を受けながら、実践で生かすことができるよう熱心に取り組んでいました。



団員による消火訓練

公園づくりを目指して
山と里の交流を



公文さんから皮はぎの説明を受ける松本地区の人々

寛伸さん)の山の達人たちから山や木について学びました。また、実際に公園の花壇の枠に間伐材を活用しようと、達人たちに教わりながら、自分たちの手で枝打ちや皮はぎ作業を行いました。参加していた子どもたちは、「木の皮つてこんなに簡単にはげるんや」と作業に夢中でした。

5月18日には、公園の花壇づくりが行われ、今回は塩の道保存会のメンバーが松本地区を訪れ、共に作業を行い、交流を深めました。

土佐山田町松本地区は『お接待』の心を大切に、お遍路さんの休憩所として大師堂の改築などさまざまな取り組みを行っています。その取り組みの一つとして、今回緑の募金公募事業交付金を受け、大師堂前に公園を整備することになりました。

その足がかりとして、4月29日に、松本地区住民25人が、物部町庄谷相にある紫翠園を訪れ、『塩の道香美市保存会』(会長・公文

スポーツニユース

第3回香美市体力つくり少年剣道錬成大会

(4月29日、大栃高等学校体育館)

市内外の学校・団体から54チーム、309人が参加し、小学生・中学生・高校生の3部門で熱戦が繰り広げられました。市内関係出場者は次のような成績を収めました。

〔結果〕

・個人

小学生の部

優勝 門田智也(之善館鏡野道場)

高校生の部

準優勝 鎌倉佳祐(山田高等学校)

第3位 公文典久(山田養護学校)、近藤伸政(高知工業高等学校)

・団体

中学生の部

第3位 大栃中学校

高校生の部

準優勝 山田高等学校



蜷真剣に立ち合い

春の叙勲

香美市から2氏が受章

瑞宝双光章

甲藤忠男さん(香北町美良布)

保護司 更生保護功労



昭和58年1月1日から25年余りの長きにわたり、保護司として非行少年や犯罪者の改善更正、犯罪予防活動に取り組みました。また、香北保護区の保護司会長も務められ、保護区の柱として尽力されました。

甲藤さん:このたびの受章に対しては、素直にありがたく恐縮しています。けれど、章をいただけたのも、先輩や同僚、保護観察所など、皆さんの支えとご配慮の賜物です。これからも、後輩の育成に励み、身を引き締めて努めていきたいと思えます。

瑞宝双光章

横谷和泰さん(香北町小川)

元香美市香北消防団団長 消防功労



昭和31年1月13日に美良布町消防団に入団。美良布分団長や香北消防団長を務められ、50年余りの長きにわたり、住民の生命身体財産を守り、各種災害の被害軽減に尽力されました。

横谷さん:消防団の先輩や団員の皆さんや県、消防署のおかげで、このたび受章することができました。大変光栄に思っています。これからも元氣なうちは、住民の皆さんの生命財産を守るよう、消防活動を続けていきたいと思っています。